



テーマ:災害への対策・対応～地域の安全・安心に向けた支援活動～/奈良県電気工事工業組合(奈良県)

## ●地震・水害等自然災害時の公共関連施設等の応急復旧支援を通じた社会貢献活動の推進

<http://www.naradenkouso.or.jp/>

### ■背景と目的

1995年の阪神・淡路大震災が公共施設や市民生活に甚大な被害をもたらした状況を目の当たりにし、また近い将来、奈良盆地東縁断層帯地震が奈良県に甚大な被害をもたらすと言われているなか、当組合では、電気に携わる者としての使命感を強く再認識し、電気工事業者として、自然災害発生時の復旧活動に貢献したいという強い思いから取組みを始めた。

### ■事業・活動の内容と手法

当組合での活動は、奈良県下の39市町村と締結した協定に基づく「自然災害時の応急復旧支援」と、災害時において迅速かつ適切な防災活動を行うための「実践的な防災訓練」であり、現在は防災訓練が主な活動となっている。自然災害時の応急復旧対象は公共施設(市役所、町村役場、公民館)のみを対象としている。ある程度目標を絞り込

み、情報、マンパワー、マテリアル(物資)を集中させることにより、ひいては個々の住民レベルでの早急な復旧と安全確保につながるの考えに基づく。

この活動の推進は当組合単体でできるものではなく、全日本電気工事業工業組合連合会、関西電気工事工業会、関西電力(株)等の上位組織や他団体、企業等との広域的かつ緻密な連携が不可欠であり、総合的なネットワークを構築していった。

### ■成果

防災訓練の実施等を通じて、各市町村における当組合に対する理解が深まった。また、組合員と各地区の消防とが密接に連携し活動することにより、上位組織を含めた関係者の士気を高めることができた。こうして、縦と横の人的連携をはじめ、総合的なネットワークを構築できたことは大きな成果となった。

テーマ:地域活性化・地域社会への貢献～歴史や伝統、文化を活かした賑わい創出～/協同組合福山卸センター(広島県)

## ●物流拠点からの進化～STOREHOUSE、開催!

<http://www.kyosai.or.jp/~oroshi49/>

### ■背景と目的

当組合は広島県東部地域の物流拠点として発展していたが、流通業界の競争激化により組合員の倒産、廃業が相次ぎ、組合員が減少。団地内にも空き店舗が目立ってきた。「STOREHOUSE(ストアハウス)」イベントは福山市卸町の発展・復興を願って組合青年部、外部の若手事業者が連携して、平成25年から始めたまちづくり地域活性化プロジェクトである。

### ■事業・活動の内容と手法

「STOREHOUSE」とは、「倉庫、知識などの宝庫」という意味があり、卸町にある倉庫のような建物を、それぞれの分野のプロとシェアできればという思いが込められている。「みんなでつくるまち」を合言葉に平成25年4月より開催し、平成28年には2回の開催で4万人の来場となり、回を重ねるごとに来場者は増加している。

当イベントは、地域を活性化させたいという情熱を持った若手組合員や外部の若手事業者、デザイナー等が中心となって展開しているものであり、組合は遊休施設や駐車場の提供、地域や行政との調整、段取り等のバックアップに徹した。プロジェクトの企画・運営を若手の自主性と行動力に任せることで、固定観念に囚われない柔軟で新しい

アイデアが生まれた。また、備後デザインサロン、福山市魅力発信課との連携や、外部のデザイナー等の協力を得ることで、スタイリッシュで大人な空間を意識したブース・会場作りができ、おしゃれなイベントイメージを定着させた。

「STOREHOUSE」により、地域の若者やアーティストが発表できる場所ができ、多くの方に卸町へ足を運んでもらうきっかけ作りができ、イベントの回を重ねるごとに、卸町は若い経営者に注目される街となってきた。今後も「STOREHOUSE」のコンセプトを大切に、これを機軸として、新たな魅力を持った商業地、また情報発信基地としてのステイタスを確立していきたい。

### ■成果

イベントの企画・運営を若手に任せることで、固定観念にとらわれない新しい形式のイベントを開催することができた。平成28年は年2回の開催で、来場者が4万人となるなど、今まで卸町と無縁であった地域の方々も多数訪れ、団地エリアの活性化に大きな役割を果たしている。また、イベントを通して、卸町及び当組合に興味を持ち、団地内の空き店舗への出店、組合への加入を希望する事業者も増えてきている。